

大阪 あちこち

●古市古墳群と津堂城山古墳

藤井寺市には、大小の古墳が数多く点在しており、古市古墳群として12基の古墳が国史跡に指定され、本市の歴史的な街並みを特徴づけています。

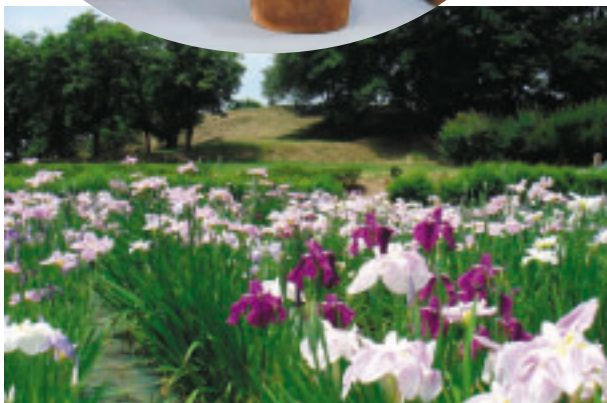
その一つである津堂城山古墳は、市域の北西部に位置し、墳丘長208m、全長436mの前方後円墳で、二重の濠と堤を持ち、4世紀後半に築造された古市古墳群の中で最古の古墳です。城山という名称の由来は、南北朝時代から戦国時代にかけて、この地に城が築かれていたためこの名がついています。

津堂城山古墳では、後円部頂に堅穴式石槨に納められた長持形石棺が確認され、鏡や刀剣等の副葬品が出土しています。また、昭和58年に、濠の中央部分から3体の水鳥形埴輪が発見されました。その大きさは、2体が109cm、1体が80cmという高さで、国の重要文化財に指定されています。

現在は、周囲の濠に、5月下旬から見ごろとなる花しょうぶ園や四季折々の花が楽しめる草花園を整備しています。また、ガイダンス施設として、展示室や休



3体の水鳥形埴輪



津堂城山古墳と花しょうぶ園



市立生涯学習センター（アイセル シュラ ホール）

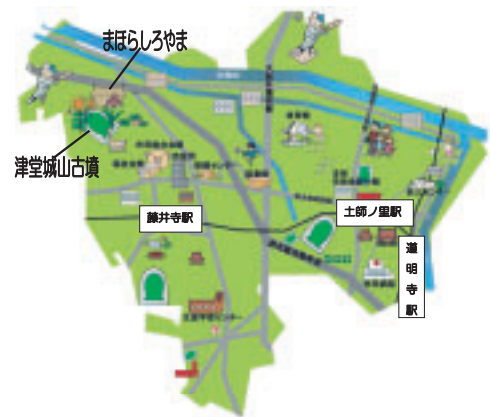
憩所、トイレなどを備えた「まほらしろやま」を設置し、身近に親しめる古墳として、毎年、多くの方々が訪問されています。

そして、この津堂城山古墳を含めた古市古墳群については、日本を代表する大規模古墳群であり、世界文化遺産への登録に向けた準備を進めています。

藤井寺市には、古市古墳群のほかにも、西国三十三ヶ所の第五番札所である葛井寺、菅原道真ゆかりの道明寺天満宮・道明寺など、国宝や重要文化財を所蔵する神社仏閣があります。また、津堂城山古墳で発見された水鳥形埴輪をはじめ、717年に阿倍仲麻呂や吉備真備らとともに中国の唐に渡った本市出身とされる遣唐留学生井真成の墓誌（功績等を記した石）などを市立生涯学習センターで展示しています。

このように、貴重な歴史文化遺産にあふれた藤井寺市に、ぜひ一度、お越しください。

- ◆最寄り駅：津堂城山古墳 近鉄南大阪線「藤井寺駅」
近鉄バス「小山」下車
市立生涯学習センター 近鉄南大阪線
「藤井寺駅」南へ徒歩8分



▼お問い合わせ先▼

藤井寺市総務部秘書室企画課

TEL 072-939-1111

E-mail kikaku@city.fujiidera.osaka.jp